

せっこうボード面及びその他ボード面

18章8節: つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP-G) 水性ビルデック艶有 (ヤニ止め仕様)

公共仕様No.
DNT-新設・8-4-11

使用材料一覧表

| 規格 一般名称 | 商品名 | ホルムアルデヒド 分散等級 | 希釈剤 |
|-----------------------------------|----------------|------------------|-----|
| 1 JIS K 5663 合成樹脂エマルジョンシーラー | 水性マイティーシーラーマルチ | F☆☆☆☆ | — |
| 2 JIS K 5660 つや有合成樹脂エマルジョンペイント | 水性ビルデック艶有 | F☆☆☆☆ | 水道水 |

塗装仕様

表18.2.7 せっこうボード面及びその他ボード面の素地ごしらえ【B種】

| 工程 | 塗料その他 | | | 面の処理 |
|----------------|-------------|---------------|-----------------|------------------------|
| | 規格番号 | 規格名称 | 種類 | |
| 1 乾燥 | — | | | 継目処理部分を十分に乾燥させる。 |
| 2 汚れ、付着物除去 | — | | | 素地を傷つけないように除去する。 |
| 3 穴埋め、 パテかい | JIS K 5669 | 合成樹脂エマルジョンパテ | 一般形 | 釘頭、たたき跡、傷等を埋め、不陸を調整する。 |
| | JIS A 6914 | せっこうボード用目地処理材 | ジョイント コンパウンド | |
| 4 研磨紙ずり | 研磨紙P120～220 | | | パテ乾燥後、表面を平らに研磨する。 |

- (注) 1. 屋外及び水回り部の場合は、工程3の合成樹脂エマルジョンパテは、塗料製造所の指定するものとする。
 2. 工程3のせっこうボード用目地処理材は、素地がせっこうボードの場合に適用する。
 3. けい酸カルシウム板の場合は、工程3の前に吸込止めとしてJASS18 M-2011による塗料を全面に塗る。
 4. 仕上材が仕上塗材の場合は、パテは、仕上塗材製造所の指定するものとする。
 5. 仕上材が壁紙の場合は、パテは壁紙専用のものとする。

表18.8.1 せっこうボード面及びその他ボード面つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り【A種】

| 工程 | 商品名 | 色相 | 混合比率 (重量比) | 希釈率(%) (重量比) | 塗装方法 | 塗付け量 (kg/m ² /回) | 塗装間隔 (20℃) |
|----------------|--------------------|----------------|---------------|-----------------|------------|--------------------------------|---------------|
| 1 下塗り | 水性マイティー シーラーマルチ | 透明なブルー クリヤー | — | 無希釈 | 刷毛 ローラー | 0.07 | 2時間以上 |
| | | | | | スプレー | | |
| 2 中塗り (1回目) | 水性ビルデック 艶有 | 各色 | — | 5～15 | 刷毛 ローラー | 0.10 | 3時間以上 |
| | | | | 10～20 | スプレー | | |
| 3 研磨紙ずり | 研磨紙P220～240 | | | | | | 清掃後 |
| 4 中塗り (2回目) | 水性ビルデック 艶有 | 各色 | — | 5～15 | 刷毛 ローラー | 0.10 | 3時間以上 |
| | | | | 10～20 | スプレー | | |
| 5 上塗り | 水性ビルデック 艶有 | 各色 | — | 5～15 | 刷毛 ローラー | 0.10 | — |
| | | | | 10～20 | スプレー | | |

- (注) 1. 素地ごしらえの種類は、塗料その他の欄による。
 2. 押出成形セメント板面の素地ごしらえは、表18.2.6によるB種とする。

18.2.7 せっこうボード面及びその他ボード面の素地ごしらえ
 せっこうボード面及びその他ボード面の素地ごしらえは表18.2.7により、種別は特記による。
 特記がなければ、せっこうボードの目地工法が継目処理工法の場合はA種、その他の場合はB種とする。

18.8.2 せっこうボード面及びその他ボード面つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り
 つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗りは表18.8.1により、種別は特記による。特記がなければ、B種とする。
 なお、天井面等の見上げ部分は、工程3を省略する。

注意事項

- * 上記塗付け量は国土交通省 公共建築工事標準仕様書(建築工事編)平成28年版に掲載されている数値です。
 そのため実際の塗付け量は被塗物の形状や、塗装方法、環境によって増減することがあります。

- * 商品の詳細、塗装上の注意事項につきましては、カタログ、単品説明書などを参照ください。